



Tsunagaru

つながる

Be In The Community

和歌山県立特別支援学校
地域との連携による教育実践



地域とともにできること

地域のためにできること

私たちは、子供たちが、周りの人々とのつながりを持ちながら、自信を持って社会への一歩を踏み出すことを願っています。そして、子供たち一人一人が自分の役割を見つけ、地域社会に参加していこうとする気持ちを持つことが大切だと考えています。

そのためにも、「学び」を学校の中だけに留めることなく、地域社会の中で子供たちの力を発揮できる取組を充実させていきたい。子供たちが、地域の様々な活動の中で見せる「本気の姿」に、私たちはその思いを更に強くします。

身近な地域や多様な人々とつながりながら子供たちを育む学校。

学校や地域の創り手となる子供たち。

私たちはこれからも、地域とともにある学校の取組を推進していきます。



和歌山ろう学校

和歌山市砂山南 3-1-73

和歌山ろう学校の理容・美容科に在籍する生徒たちは、海南市保健福祉センターなどで、ネイルアートのボランティアに取り組んでいます。

施術にあたっては、お客様の希望するデザインに仕上がるよう、音声と筆談で会話を行うアプリを活用し、コミュニケーションを図っています。施術後のネイルを見つめるお客さんの満足した笑顔が、生徒たちの自信や学びへの意欲につながっています。

生徒にとって、このボランティア活動は、一般の方々に施術を行う機会となり、ネイル技術や接客技術の習得とともに、健聴者とのコミュニケーション意欲の向上を図る機会ともなっています。

今後も多くの方々にネイルアートを届けられるよう、活動の場を広げていきたいと考えています。

“おしゃれ”で人を幸せにする。





『おもてなしの心』を届けたい。

紀伊コスモス支援学校では、学校に併設する地域交流館で、定期的にカフェ「アトリエコスモス」をオープンし、学校で作ったパンやスイーツなどを販売しています。

生徒たちは地域の皆様に喜んでもらえるよう、ウェルカムボードの工夫やBGMの選曲を話し合うなどの準備を進めます。そして当日は、「おもてなし」を届けられるよう、接客や片付けなどに各自が責任を持ち役割を果たしています。

お客様の「おいしかったよ、次はいつ？」という言葉に、自分たちが認められている実感を得て、その期待に応えたいという意欲につながっています。

カフェを手掛かりに、学校と地域のつながりを深めるとともに、地域の皆様が集い、楽しんでもらえる場所を作っていきたいと考えています。



子供たちに楽しんでもらえる ゲームを作る。

和歌山さくら支援学校では、近くの幼稚園を訪問し子供たちに楽しんでもらえるよう、レクリエーション活動を行っています。

準備にあたっては、生徒同士で、「子供たちに喜んでもらえるのか」、「子供たちに楽しんでももらえるのか」を確認しながら、いくつかのゲームを考え、小さな子供たちが使いやすい道具を作製しました。

当日、生徒たちは、幼稚園の子供たちへの関わり方に戸惑う様子もありましたが、子供たちの楽しそうな姿に緊張もほぐれ、積極的に語りかけている場面も多くありました。

これからも、生徒自身が地域に役立つことを考え、地域に貢献できる活動を進めていきたいと考えています。



地域の文化を守り、受け継ぐ。

紀北支援学校では、海南市黒江の伝統工芸品である一閑張り（柿渋染め）の手さげかばんや、小物入れなどを製作し販売しています。

生徒たちが制作技術を身に付けられるよう、地域で紀州漆器の伝統を継承している方に来校いただき、定期的に一閑張りの指導を受けています。生徒たちは手作業で土台となる原型に和紙を貼り、表面に柿渋を塗り重ね、丁寧に商品を作ることができるようになってきています。販売活動では一般の方々に商品を褒められることも多くあり、生徒たちの製作意欲も高まっています。

今後は、海南市黒江における地域活性化を進める取組にも参加し、地域との連携を深めていきたいと考えています。

紀北支援学校
和歌山市冬野 227

みくまの支援学校

新宮市蜂伏 13-26

みくまの支援学校では、近くにあるスーパーマーケットの店頭で、学校で作った製品の販売を行いました。

地域の方々とふれあいながら、自分たちの作った製品を販売することができ、地域の中で活躍するための自信と、製品を作る喜びにつながっています。

販売が終わった後、「値段の設定は適切だったのか」、「地域の人たちに喜んでもらうためにはどんな製品を作ればよいのか」などを生徒同士で話し合い、新しい製品づくりに取り組んでいます。

今後は、地域の様々な方々の意見を聞きながら、地域の特性を活かした製品づくりを行っていきたいと考えています。

地域の人たちに必要とされる
製品を作りたい。





和歌山県教育委員会
令和2年2月